

分割画面を利用する

Reno9 A / 7 Aには、アプリを上下に分割して表示できる「分割画面モード」機能があります。なお、分割表示に対応していないアプリもあります。



画面を分割表示する

- ① P.21手順②の画面を表示します。



- ② 上側に表示させたいアプリ（ここでは [Chrome]）の をタップし、「分割画面」をタップします。



- ③ 続いて、下側に表示させたいアプリ（ここでは [Playストア]）をホーム画面や「アプリ一覧」画面から起動します。



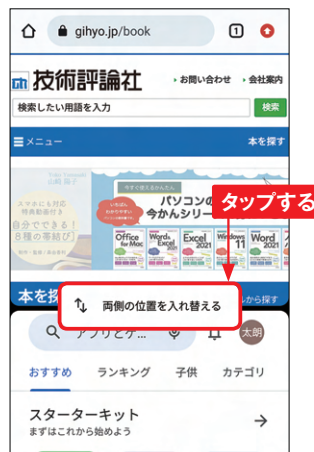
- ④ 選択した2つのアプリが分割表示されます。中央の を上下にフリックすると、分割表示を終了できます。



分割表示したアプリを切り替える

- 画面の上下を入れ替える

- ① 中央の をタップして表示された [両側の位置を入れ替える] をタップします。



- ② 画面の上下が入れ替わりました。

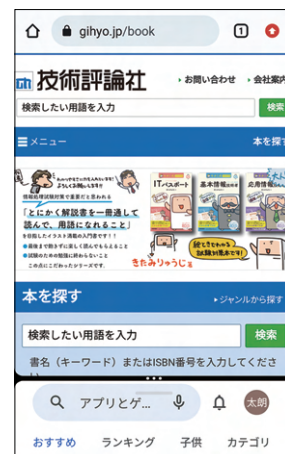


- 上下の表示幅を変更する

- ① 中央の を上または下にドラッグします。

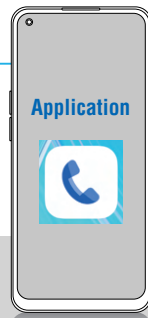


- ② 上下画面の表示幅が変わりました。



発信や着信の履歴を確認する

電話の発信や着信の履歴は、通話履歴画面で確認します。また、電話をかけ直したいときに通話履歴から発信したり、電話に出られない理由をメッセージ（SMS）で送信したりすることもできます。



■ 発信や着信の履歴を確認する

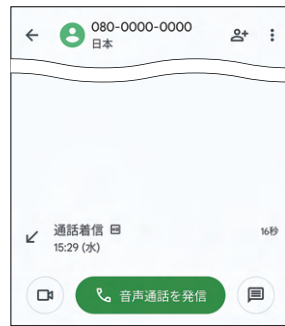
1 P.40手順①を参考に「電話」アプリを起動して、[履歴] をタップします。



2 発信の履歴を確認できます。履歴をタップして、[履歴を開く] をタップします。

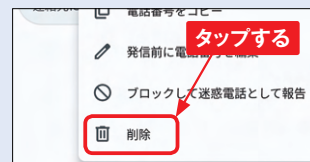


3 通話の詳細を確認することができます。



MEMO 履歴の削除

手順②の画面で履歴をロングタッチして、[削除] をタップすると、履歴を削除できます。



■ 履歴から電話をかける

1 P.42手順①を参考に発信履歴画面を表示します。発信したい履歴の☎をタップします。

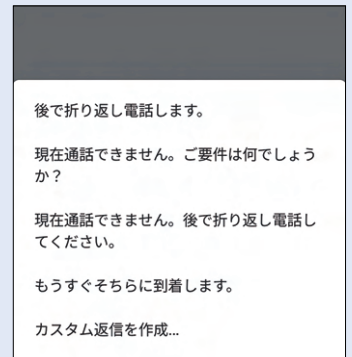


2 電話が発信されます。



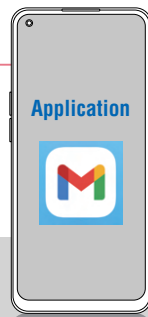
MEMO 電話に出られない理由をメッセージ（SMS）で送信

着信があっても電話に出られない場合は、出られない理由を相手にメッセージ（SMS）で送ることができます。P.41手順①の画面で、[返信] をタップし、送信するメッセージを候補から選んで入力するか、[カスタム返信を作成] をタップして、好きなメッセージを入力します。



Gmailを利用する

Reno9 A / 7 AにGoogleアカウントを登録すると、すぐにGmailを利用できます。なお、画面が掲載しているものと異なる場合は、P.85を参考にアプリを更新してください。

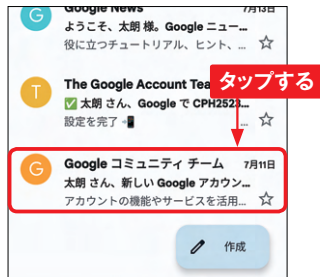


受信したGmailを閲覧する

- 1 ホーム画面で [Google] → [Gmail] とタップします。



- 2 画面の指示に従って操作すると、「メイン」画面が表示されます (右のMEMO参照)。読みたいメールをタップします。



- 3 メールの差出人やメール受信日時、メール内容が表示されます。←をタップすると、「メイン」画面に戻ります。なお、↵をタップすると、表示中のメールに返信できます。



MEMO Googleアカウントを同期する

Gmailを使用する前に、あらかじめ自分のGoogleアカウントを設定しましょう (Sec.12参照)。Gmailを同期する設定にしておくと (標準で同期)、Gmailのメールが自動的に同期されます。すでにGmailを使用している場合は、内容がそのまま「Gmail」アプリで表示されます。

Gmailを送信する

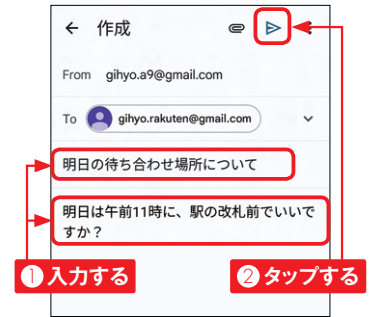
- 1 「メイン」画面を表示して、[作成] をタップします。



- 2 「作成」画面が表示されます。[To] をタップして宛先のアドレスを入力します。



- 3 件名とメッセージを入力し、▶をタップすると、メールが送信されます。



MEMO メニューを表示する

「メイン」画面を左端から右方向にスライド、または≡をタップすると、メニューが表示されます。メニューでは、「メイン」以外のカテゴリやラベルを表示したり、送信済みメールを表示したりできます。なお、ラベルの作成や振り分け設定は、パソコンのWebブラウザで「<http://mail.google.com/>」にアクセスして操作します。



Webページを閲覧する

Reno9 A / 7 Aには、インターネットの閲覧アプリとしてGoogleの「Chrome」アプリが標準搭載されています。ここでは、「Chrome」の使い方を紹介します。



Chromeを起動する

- ① ホーム画面で をタップします。



- ② 「Chrome」アプリが起動します。画面上部には「アドレスバー」が配置されています。アドレスバーが見えないときは、画面を下方方向にフリックすると表示されます。



- ③ [アドレスバー] をタップし、WebページのURLを入力して、 をタップすると、入力したWebページが表示されます。



MEMO インターネットを検索をする

手順③でURLではなく、調べたい語句を入力して をタップするか、アドレスバーの下部に表示される検索候補をタップすると、検索結果が表示されます。

Webページを移動する

- ① Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、ページ内のリンクをタップします。



- ② ページが移動します。 をタップすると、タップした回数分だけページが戻ります。



- ③ 画面右上の : (「Chrome」アプリの更新がある場合は) をタップして、 をタップすると、前のページに進みます。



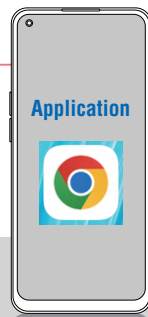
- ④ : をタップして をタップすると、表示ページが更新されます。



MEMO PCサイトの表示

スマートフォンの表示に対応したWebページを「Chrome」アプリで表示すると、モバイル版のWebページが表示されます。パソコンで閲覧する際のPC版サイトをあえて表示させたい場合は、 : をタップし、[PC版サイト] をタップします。もとに戻すには、再度、 : をタップし、[PC版サイト] をタップします。

Webページを検索する



「Chrome」アプリの「アドレス入力欄」に文字列を入力すると、Google検索が利用できます。また、表示中のWebページ内だけを検索することもできます。

キーワードからWebページを検索する

1 Webページを開いた状態で、[アドレスバー] (P.72参照) をタップします。



2 検索したいキーワードを入力して、→をタップします。



3 Google検索が実行され、検索結果が表示されるので、開きたいページのリンクをタップします。

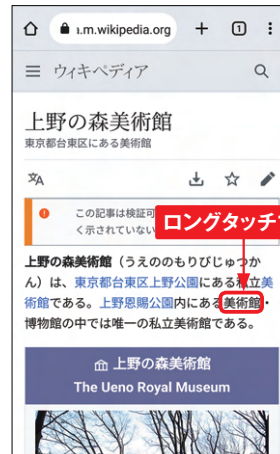


4 リンク先のページが表示されます。



Webページ内のキーワードを選択して検索する

1 Webページによっては、表示されている文字列を利用して検索ができます。Webページ内の文字列をロングタッチします。



2 対応しているWebページであれば、タップした文字列がハイライトで表示されます。画面下部をタップします。

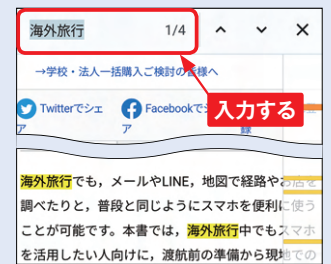


3 Google検索の結果が表示されます。上下にスワイプしてリンクをタップすると、リンク先のページが表示されます。



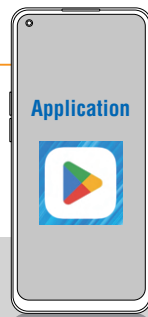
MEMO ページ内検索

「Chrome」アプリでWebページを表示し、⋮ → [ページ内検索] の順にタップします。表示される検索バーにテキストを入力すると、ページ内の合致したテキストがハイライト表示されます。



Google Playでアプリを検索する

Reno9 A / 7 Aは、Google Playに公開されているアプリをインストールすることで、さまざまな機能を利用できます。まずは、目的のアプリを探す方法を解説します。



アプリを検索する

- 1 Google Playを利用するには、ホーム画面で「Playストア」をタップします。



- 2 「Playストア」アプリが起動して、Google Playのトップページが表示されます。「アプリ」→画面上部の「カテゴリ」をタップします。



- 3 「アプリ」の「カテゴリ」画面が表示されます。上下にスワイプして、ジャンルを探します。



- 4 見たいジャンル（ここでは「カスタマイズ」）をタップします。



- 5 画面を上方向にスライドし、「人気のカスタマイズアプリ（無料）」の右の→をタップします。



- 6 詳細を確認したいアプリをタップします。



- 7 アプリの詳細な情報が表示されます。人気のアプリでは、ユーザーレビューも読めます。



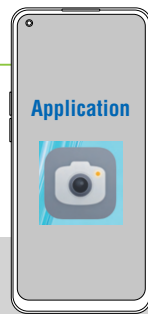
MEMO キーワードで検索する

Google Playでは、キーワードからアプリを検索できます。検索機能を利用するには、画面上部にある検索ボックスをタップし、検索欄にキーワードを入力して、Qをタップします。



写真や動画を撮影する

Reno9 A / 7 Aには、シンプルで使いやすい「カメラ」アプリが搭載されています。さまざまなシーンで最適の写真や動画が撮れるほか、モードや、設定を変更することで、自分好みの撮影ができます。



5 写真を撮影する

- 1 ホーム画面で をタップします。写真を撮るときは、カメラが起動したらピントを合わせたい場所をタップして、 をタップすると、写真が撮影できます。

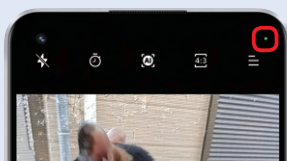


- 2 撮影した後、直前に撮影したデータアイコンをタップすると、撮った写真を確認することができます。 をタップすると、インカメラとアウトカメラを切り替えることができます。



MEMO インジケータ

ColorOS 12 (Android 12) からの機能として、プライバシー保護のために、カメラやマイクを使用中はステータスバー上にインジケータが表示されます。起動時には数秒大きく表示された後に緑の点として表示されます。

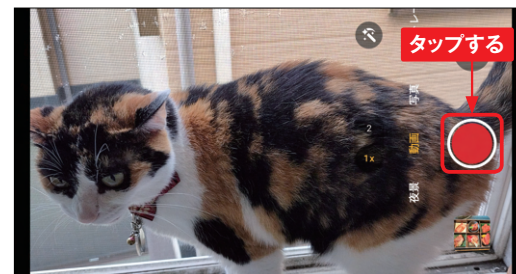


動画を撮影する

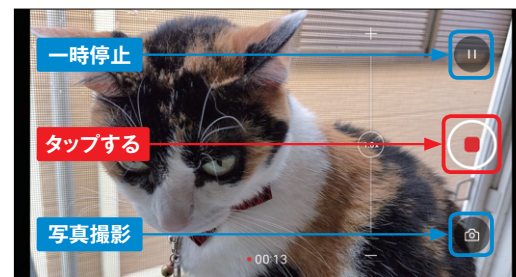
- 1 動画を撮影したいときは、画面を上方向（横向き時。縦向き時は右）にスワイプするか、[動画] をタップします。



- 2 動画撮影モードになります。動画撮影を開始する場合は、 をタップします。



- 3 動画の撮影が始まり、撮影時間が画面下部に表示されます。撮影を終了するときは、 をタップします。

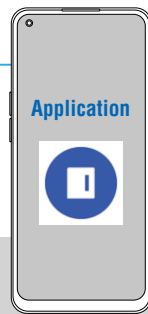


- 4 撮影が終了します。写真撮影モードに戻す場合は、画面を下方向（横向き時。縦向き時は左）にスワイプするか、[写真] をタップします。



スマートサイドバーを利用する


スマートサイドバーは、どんな画面からもすぐに目的の操作を行える便利な機能です。ドラッグして表示したフローティングウィンドウによく使うツールやアプリを登録したり、起動することができます。



スマートサイドバーを操作する

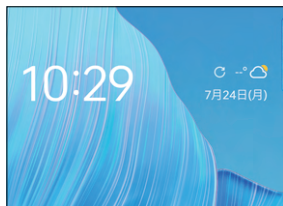
- 1** フローティングバーを画面の中央に向かってドラッグします。なお、フローティングバーは標準では未使用時は自動的に消えますが、消えた状態でもこの操作は有効です。



- 2** フローティングウィンドウが表示されます。アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。フローティングウィンドウ以外の部分をタップするか、をタップします。



- 3** フローティングウィンドウの表示が消え、もとの画面に戻ります。



MEMO スマートサイドバーがオフの場合

標準ではフローティングバーは、画面の右側面上部に表示（自動的に非表示になります）されますが、スマートサイドバーがオフの場合は表示されませんし、手順①の操作をしてもフローティングウィンドウが表示されません。その場合は、「設定」アプリを起動して、[特殊機能] → [スマートサイドバー] とタップして [スマートサイドバー] をオンにします (P.135参照)。


フローティングウィンドウをカスタマイズする

- 1** フローティングウィンドウを表示して、[編集] をタップします。



- 2** フローティングウィンドウから削除したいアプリのをタップします。



- 3** アプリが削除されました。アプリを追加したい場合は、左の画面で追加したいアプリのをタップします。

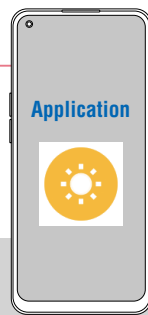


- 4** フローティングウィンドウにアプリが追加されました。[完了] をタップします。



ダークモードを利用する

Reno9 A / 7 Aでは、画面全体を黒を基調とした目に優しく、省電力にもなるダークモードを利用することができます。ダークモードに変更すると、対応するアプリもダークモードになります。



■ ダークモードに変更する

- 1 「設定」アプリを起動し、[ディスプレイと明るさ] をタップします。



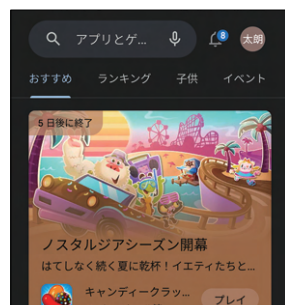
- 2 [ダークモード] をタップします。



- 3 画面全体が黒を基調とした色に変更されます。

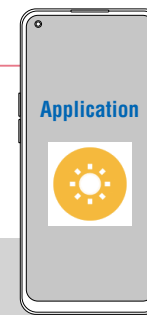


- 4 対応したアプリ (画面は「Playストア」) も、ダークモードになります。



スリープモードになるまでの時間を変更する

スリープモード (P.10参照) に入るまでの時間を設定することができます。なお、初期設定では「30秒」でスリープモードになるように設定されています。



■ スリープモードになるまでの時間を変更する

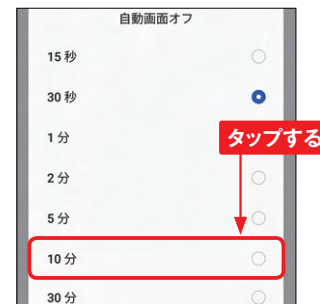
- 1 「設定」アプリを起動し、[ディスプレイと明るさ] をタップします。



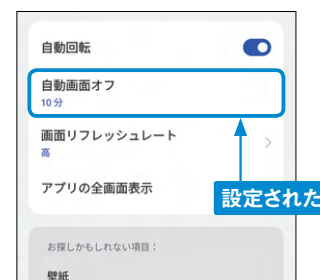
- 2 [自動画面オフ] をタップします。



- 3 「自動画面オフ」の画面になります。スリープモードになるまでの時間 (ここでは「10分」) をタップします。

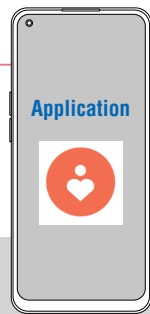


- 4 「10分」に設定されました。



アプリの利用時間を設定する

「Digital Wellbeing」では利用時間をグラフなどで詳細に確認でき、各アプリの起動回数なども確認できます。また、アプリごとに設定した利用時間が経過すると停止することができます。



■ 利用時間を見える化する

- ① 「設定」アプリを起動して、[Digital Wellbeingと保護者による使用制限]をタップします。



- ② 今日の各アプリの利用時間が円グラフで表示されます。[今日]をタップします。



- ③ 直近の曜日の利用時間がグラフで表示されます。任意の曜日をタップします。



- ④ 手順③でタップした曜日の利用時間が表示されます。画面下部には各アプリの利用時間が表示されます。



MEMO 通知数や起動回数を確認する

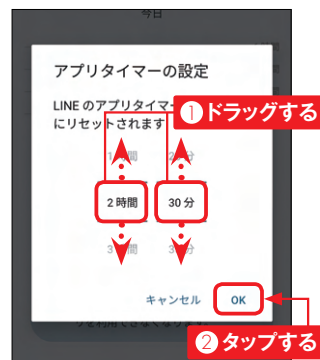
手順③の画面で、[ロック解除数]や[通知数]をタップして表示を切り替えると、それぞれの回数を確認することができます。

■ 利用時間を制限する

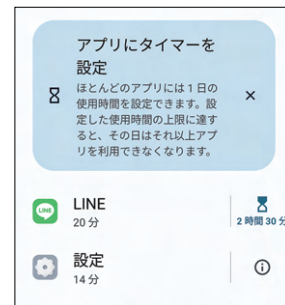
- ① P.176手順④の画面で、利用時間を設定するアプリ（ここでは「LINE」）の⌵をタップします。



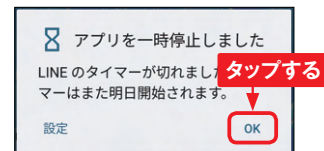
- ② 「アプリタイマーの設定」で時間を上下にドラッグして設定し、[OK]をタップします



- ③ 利用時間が設定されました。



- ④ 設定した利用時間が経過すると、アプリが停止するので、[OK]をタップします。その日は、アプリを利用できなくなります。



MEMO フォーカスモード

仕事や勉強に集中したいとき、妨げになるアプリを停止するのがフォーカスモードです。設定した時間内は指定したアプリを起動できなくなり、アプリからの通知も届かなくなります。「設定」アプリ→[Digital Wellbeingと保護者による使用制限]→[フォーカスモード]から設定します。

MEMO 時間設定できないアプリ

「設定」アプリなど、重要なシステムアプリは利用時間の設定ができません。